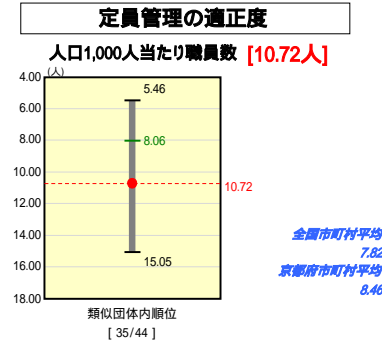
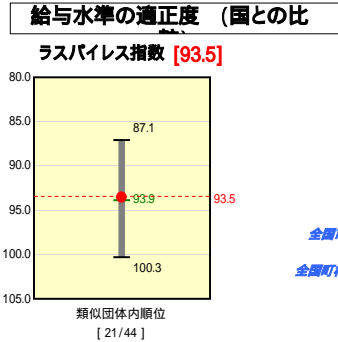
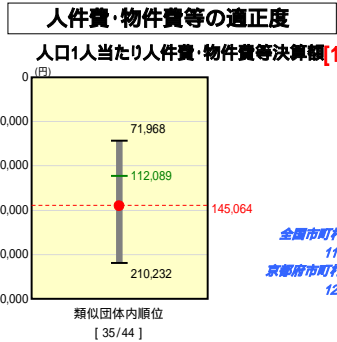
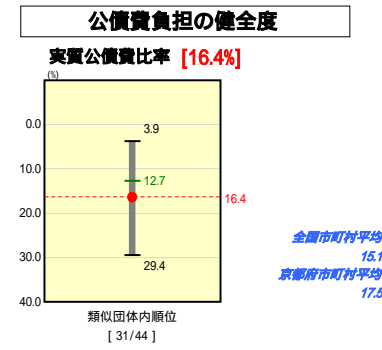
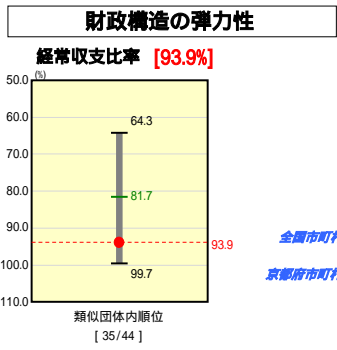
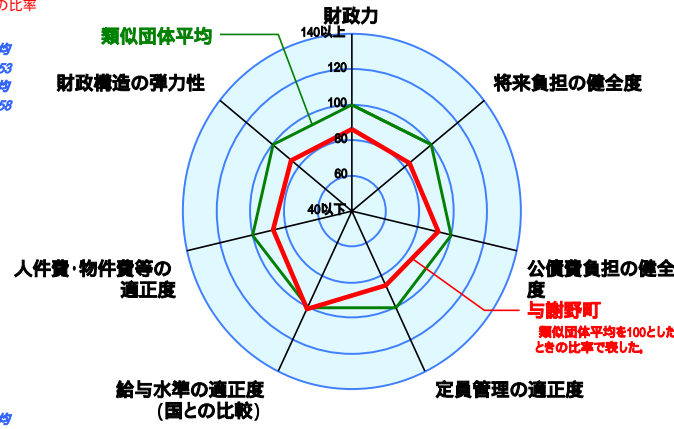
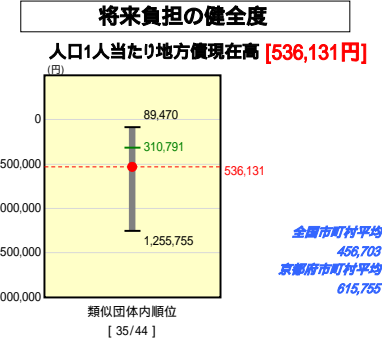
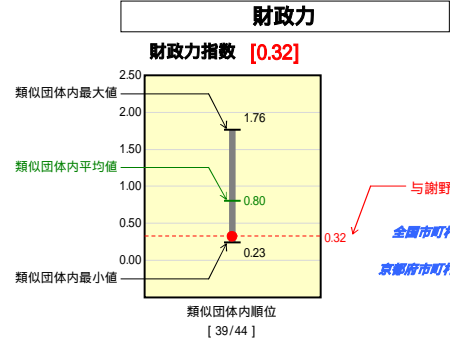


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 京都府 与 謝野町

人口	25,379	人(H19.3.31現在)
面積	107.04	km <sup>2</sup>
歳入総額	10,803,075	千円
歳出総額	10,598,150	千円
	176,917	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**【財政力（財政力指数）】**  
平成18年度は税源移譲により所得課税が増となったことにより基準財政収入額が伸び0.32と0.02の伸びとなったが類似団体平均を大きく下回っている。

**【財政構造の弾力性（経常収支比率）】**  
平成18年度決算は合併後初めての1年を通じた決算であることから議員数や特別職数の減少に伴う人件費の減などにより比率は2.1ポイント減少し93.9となった。しかし物件費や公債費が高い数値となっており、施設の統廃合や内部管理経費の削減など行政改革大綱に基づき効率的な行政運営を実現し経常経費の削減に努める。

**【人件費・物件費等の適正度（人口1人当たり人件費・物件費等決算額）】**  
合併により職員数・公共施設数が多くなったため類似団体平均を上回っている。指定管理者制度の導入や施設の統廃合、事務の効率化など経費の削減に努める。

**【給与水準の適正度（ラスパイレス指数）】**  
類似団体平均と比較すると0.4ポイント下回っている。今後においても職員給与の削減や手当の見直しにより適正化に努める。

**【将来負担の健全度（人口1人当たり地方債現在高）】**  
地方債の現在高は約1億5千4百万円の減となったが依然として類似団体平均を上回っている。今後においても合併特例債の発行予定はあるものの、単年度で元金償還額以下の起債発行とする事業の見直しを行う。

**【公債費負担の健全度（実質公債費比率）】**  
平成17年度と比較して0.4ポイントの上昇となり類似団体平均も依然として上回っている。合併特例債など交付税算入率の高い良質債の活用や新規起債発行の抑制、高利の借り換えなどにより健全財政に努める。

**【定員管理の適正度（人口1,000人当たりの職員数）】**  
合併により3町と3つの一部事務組合を普通会計に含むこととなったため類似団体平均を上回っている。退職者不補充など定員管理計画などに基づき職員数の削減に努める。